

### 「高校生お小遣い実態調査 2022」

ひと月のお小遣い平均金額は「5,582円」、高校3年間で平均金額は14.9%UP  
増額のタイミングは、1位“入学時”、2位“進級時”、3位“成績が良かった時”

お小遣い格差は約1,400円。高校生の、保護者への配慮とエンタメの充実がポイント

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）が提供する進路情報メディア『スタディサプリ進路』は、スタディサプリ編集部が高校生エディター＆公式LINE登録者を対象に“お小遣い”についてアンケートを実施致しました。また、こちらのアンケートの詳細は『スタディサプリ進路』内の「#高校生なう」でお知らせしています。

URL①: <https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20220603000001/>

URL②: <https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20220610000001/>

#### ■ひと月のお小遣い平均金額は5,582円！もらい方は“定額でもらう”が約6割

全国のお小遣いをもらっている高校生1,000人にお小遣いについて聞いたところ、1ヶ月にもらう平均金額は「5,582円」という結果に。また、学年が上がるごとに金額も比例していくイメージですが、実際は高校3年間で平均金額が14.9%上がっていることも分かりました。もらい方については、1か月に決まった金額を定額でもらう人は64.9%、必要な時に都度もらう人は36.6%、お手伝いや成績が良かったことと引き換えにもらっている人は9.1%でした。

<学年別もらっているお小遣いの月額平均>  
(自由回答/お小遣いをもらっているn=1,000)

学年	平均金額
全学年平均	5,582円
高校3年生	5,759円
高校2年生	5,518円
高校1年生	5,013円

14.9%  
UP

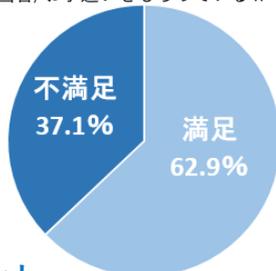
<Q.お小遣いのもらい方は？>  
(複数回答/お小遣いをもらっているn=1,000)

順位	お小遣いのもらい方	割合
1	ひと月に決まった定額でもらう	64.9%
2	必要な時に都度もらう	36.6%
3	お手伝いや成績と引き換えにもらう	9.1%

#### ■お小遣いには約6割が満足！増額は自然発生的にやってくるタイミングが1、2位

休日に遊んだり、学校帰りに小腹を満たしたり、好きなアイドルのグッズを買ったり…、いくらあっても足りないように思えるお小遣いですが、62.9%がお小遣いに“満足している”と回答。また、増額のタイミングは、自分で金額交渉をした時よりも入学・進学といったしぜん発生的にやってくるタイミングの方が上位でした。

<Q.今のお小遣いに満足していますか？>  
(単一回答/お小遣いをもらっているn=1,000)



<Q.お小遣いの金額が上がるタイミングは？>  
(複数回答/お小遣いをもらっているn=1,000)

順位	金額が上がるタイミング	割合
1	入学時（中学から高校に上がる時など）	41.4%
2	進級時（高1から高2になった時など）	39.1%
3	勉強で成果を出した時	14.2%
4	金額交渉をした時	11.9%
5	誕生日	10.5%

#### ■編集長コメント

「お小遣い格差」は満足派と不満足派で約1,400円！

不満足派の約6割が値上げ交渉しない中、保護者への配慮とエンタメの充実がポイント



『スタディサプリ進路ブック』  
編集長  
仲井 美夏  
(なかい みか)

お小遣いに満足する高校生が大半の中、不満を抱えている人は全体の4割弱。それもそのはず、不満足派の平均金額は4,684円、満足派は6,112円と格差は約1,400円で、かつ平均金額よりも約1,000円下回っています。そんな中、不満足派の中でも値上げ交渉をしていない人は約6割。高校生なのだから無邪気に値上げ交渉すればよいのに…！と思いきや、そのインサイトは保護者への配慮に溢れていました。「お小遣いをもらえるだけで幸せなことだし、わざわざ交渉をするのも両親に申し訳ない」（高2/女子）、「お小遣いをもらえているだけで感謝しているから」（高3/男子）、「両親も頑張ってくれているので申し訳なくて言えない」（高2/女子）と、ただ不満を訴えるのではない愛のある考え方に脱帽です。

また、お金が全てではないものの遊びを充実させるにはお金が必要なシーンが多いことも事実。しかし、最近ではSNSや動画サービスの進化で、オンラインのエンタメが充実しており、お金を使わなくても楽しめることも増えました。お小遣いの金額に不満と云いつつも値上げ交渉をしない背景の一つには、こういった今の高校生ならではの楽しさによる充実感もあるのかもしれない。

### 【アンケート概要】

- 調査時期：2022年5月16日（月）～2022年5月18日（水）
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査実施期間：株式会社リクルート
- 調査対象：全国高校生のお小遣いをもらっている男女  
（『スタディサプリ進路』の高校生エディター/公式LINE登録者）
- 有効回答数：1,000件（男子273件、女子727件）

### ■『スタディサプリ進路』について

『スタディサプリ進路』は、1970年に創刊した『リクルート進学ブック』に始まり、2020年に50周年を迎えた、リクルートグループにおいて就職支援に次いで歴史の長い事業です。“「学びたい」「学んで良かった」がもっと増えていく世界の実現”をコンセプトに、変化が激しい社会の中で生徒が生き抜くために、「なりたい自分」と「自己実現できる学校」を発見し、「自分に合った進路選択の実現」を可能にするためのサービスを提供しています。高校3年間を通して、「自己理解」「職業観育成」「学びの内容理解」「学校研究」に対応するさまざまな教材ラインナップを無料で提供しています。

（詳細：<https://shingakunet.com/rnet/column/rikunabi/index.html?vos=conttwnowother00010>）

### ■“スタサブ編集部”について

全国2500人以上の現役高校生からなる「スタサブ高校生エディター」と共に、高校ライフにフィットするコンテンツを作る編集部。進路や受験勉強のノウハウはもちろん、夜食レシピやメンタルを支える名言などの多様なコンテンツを、Webサイト『#高校生なう』、年8回発行の雑誌『スタサブ進学マガジン』、アプリ『スタディサプリ for SCHOOL』、会員向けメールマガジン、各種SNSで配信中。

なお、今回のアンケート結果をさらに詳しく分析した記事は「#高校生なう」の下記URLにて公開中。

●URL①：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20220603000001/>

●URL②：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20220610000001/>

### リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>